

ホームページ掲載用シート

子ども会用

No.1

子ども会名（ふりがな） とうべつちょうこどもかいいくせいれんごうかい 当別町子ども会育成連合会	連絡先（〇〇方、〇〇気付など具体的に） 〒061-0292 石狩郡当別町白樺町58番地9 当別町役場3階社会教育課 TEL 0133-22-3834
会員数：幼児（74）名 小学生（260）名 中学生（165）名 高校生（14）名 JL（41）名 指導者（128）名 合計 513名 合計 169名	
地域の状況： 当別町の人口は現在約16,000人です。札幌市からJRで約40分という都市部に隣接した立地と美しい田園風景を持つ町であり、米や生花の生産が盛んです。自然が深い町であり、約12,000ヘクタールの敷地を有する「道民の森」は、“森に集う、森に遊ぶ、森に学ぶ”をテーマに掲げ、札幌近郊の小学生の宿泊学習や炊事体験によく利用されています。また降雪量が多い地域性を生かし、「あそ雪の広場」というイベントを例年開催しています。令和元年はスノーモービル乗車体験や、町内に基地を置く自衛隊の装甲車乗車体験、雪像の巨大滑り台などを実施しました。	
発足から現在までの主な沿革 昭和47年度 発足 平成24年度 石狩管内教育実践奨励表彰を受賞	
子ども会での活動（年間行事計画） 7月 当別町子ども会育成連合会デイキャンプ 9月 当別町子ども会リーダー及び育成指導者研修会 1月 当別町子ども会育成連合会新春子どもカルタ大会 3月 当別町子ども会育成連合会ジュニアリーダーズセミナー 3月 他市町村ジュニアリーダー交流研修会	
活動プログラムは誰が作りますか…？ 1 子どもたち 2 子どもと大人の代表 3 大人の作ったプロに子どもの意見を聞く 4 大人だけ 5 その他（	

特色ある活動及びプログラム、自慢できること：令和元年度の活動から抜粋

○当子連「デイキャンプ」

(目的)

町内子ども会員が交流し親睦を深めることで、子ども会活動の活発化を図る。野外での集団活動を通して子どもの社会性、協調性を養い、子どもの健やかな成長を育む。

(会場)

道民の森神居尻地区キャンプ場

(内容)

- ・バーベキュー
- ・ミニ運動会
- ・その他、ジュニアリーダーによるバスレクなど

○「こころのふれあい通学合宿」in当別

こころのふれあい通学合宿実行委員会に協力して実施。

(目的)

- ①「早寝・早起き・朝ごはん」を意識し、規則正しい生活習慣を身につける。
- ②子どもたちが自分たちで食事作り、掃除、洗濯などを行い、自ら考え行動できる力を身につける。
- ③長期にわたり生活体験をすることにより、日ごろから自分の世話をしてくれている保護者に感謝し、家族の大切さを知る。
- ④もらい湯を受け入れる地域の人々や中学・高校生ジュニアリーダーとの交流から、人と人とのふれあいの大切さを知る。

(会場)

西当別コミュニティーセンター

(内容)

掃除、洗濯、料理などを自分たちでしながら、地域のコミセンに宿泊し、コミセンから各自の学校へ通学する5泊6日の共同生活を行う。

- ・地域の方のお風呂を貸してもらい湯
- ・スポーツ鬼ごっこ
- ・超ロング巻き寿司 など

○当子連リーダー及び育成指導者研修会

(目的)

子ども会リーダーと指導者が一堂に会し、交流を図ると共に自然の中での集団生活や体験活動を通して、リーダーとしての知識や技術を習得することにより子ども会活動の活性化を図る。

(会場)

ネイパル深川

(内容)

- 1泊2日の宿泊研修
- ・クライミング体験
- ・レク など

子ども会活動における問題点：

児童数減少に伴い、単位子ども会の構成人数が減少、活動縮小の傾向がある。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動できていない地区がほとんどであり、さらなる活動縮小が懸念される。

子ども会活動における今後の展望：

活動を維持、活発化していくために、次の取り組みが求められる。

- ・新型コロナウイルス感染症影響下における活動方法の模索
- ・魅力あるイベントづくりと情報発信
- ・単位子ども会や他の青少年関係団体との連携強化

活動の写真



写真の説明：

当子連「デイキャンプ」

ミニ運動会種目
巨大かるたの様子

活動の写真



写真の説明：

こころのふれあい
通学合宿in当別

活動の写真



写真の説明：

当子連リーダー及び
育成指導者研修会

クライミング体験の様子

活動の写真



写真の説明：

当子連リーダー及び
育成指導者研修会

キャンプファイヤーの様子